

検定試験の第三者評価 【公式版】総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 日本漢字能力検定
2. 実施運営団体 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
3. 評価結果 第三者評価【公式版】総括評価に合格し認証する
4. 評価有効期間 2023年3月まで有効とする
5. 評価講評

●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的はHP等に明確に示されている。各部門の職務分掌が明確に規定され事務処理体制、危機管理体制、内部チェック体制が整っており、継続的・安定的に検定を実施する組織・体制が確立されている。財務経理状況は内部監査室による内部監査が行われ、監事監査、外部監査を受け、HP等に適切に公開されている。個人情報保護方針の公開、Pマーク認証の取得により厳正な個人情報保護対応がなされている。

上記の評価を基に、下記の実績を評価して5点加点とした。

- ①事務処理体制、危機管理体制、内部チェック体制が整備され、検定事業実施体として適切な組織・体制が確立されている。(2点)
- ②Pマークの認証を取得し、厳正な個人情報管理を行っている。(3点)

●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定の内容は受検者が自己に適した級を適切に受検できるようにHP等で分かりやすく説明されている。障害のある受検者への対応方針が具体的にHP等に公開され、障害のある受検者が公平に受検できるよう配慮されている。作問・審査体制、試験実施、会場運営等は適切に整備され、検定試験が適正に運用されている。

上記の評価を基に、下記の実績を評価し2点加点とした。

障害のある受検者への対応方針が詳細に定められ、障害の区分や程度等級に応じた特別措置(試験環境や問題等)が準備されており、障害のある受検者が公平に受検できるよう配慮されている。(2点)

●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

試験問題は学習指導要領に準拠し、受検者の総合理解を測定できるように設計されている。各級の採点基準・合格基準は明確に定められ、HPやパンフレット等に明示されている。試験実施後に受検結果の分析を行い、設問の妥当性や難易度が検証され、改善がはかられている。CBTはタブレットに専用のタッチペンで書き込む方式であり、答案用紙に手書きする方式との差異がないように工夫されている。

●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

試験問題及び標準解答 HP 等に全級公開され、過去問題集として出版されている。検定結果通知に合否結果だけでなく領域ごとの正答率や今後の学習指針を記載されるなど、受検者の継続的な学習の参考となる情報が提供されている。獲得した資格活用の参考となるよう、学校での活用状況や企業における活用状況が HP 等で公開されている。

6. 評価得点

大項目	満点	得点	得点率
I 検定試験の実施主体に関する事項	27	27	100%
II 検定試験の実施に関する事項	56	56	100%
III 検定試験の試験問題に関する事項	19	19	100%
IV 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	12	12	100%
合 計	114	114	100%
加 点		7	
総 合 計	114	121	106%